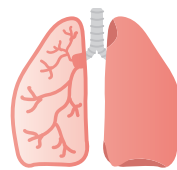


肺がんについて知ろう

日本人の2人に1人ががんになるといわれる時代ですが、肺がんは年間約7万人が死亡する、がんの中で最も死亡数が多い病気です。早期であれば手術が最も治療の期待できる治療法ですが、発見された時には進行している場合が多く、全身のがんの中では最も治療が難しいがんの一つです。

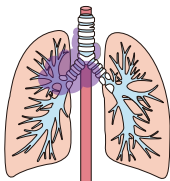
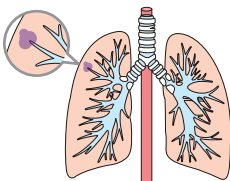
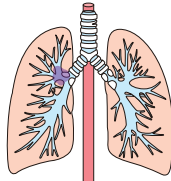
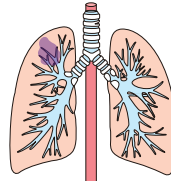


肺がんの原因と喫煙によるリスク

肺がんの原因の70%はタバコですが、その他に受動喫煙、環境、食生活、放射線、薬品が挙げられます。喫煙者は非喫煙者と比べて男性で4.4倍、女性では2.8倍肺がんになりやすく、また受動喫煙（周囲に流れるたばこの煙を吸うこと）により肺がんのリスクが1.3倍高まることも明らかになっています。また、職業性の要因として、有害化学物質（アスベスト、クロロメチルエーテル、ニッケル等）にさらされる「職業的曝露ばくろ」も肺がん発生のリスクを高めると考えられています。

肺がんの分類と特徴

肺がんは、「小細胞がん」と、「非小細胞がん」に大別されます。それぞれの特徴は以下の通りです。

	小細胞がん	非小細胞がん		
組織分類	小細胞がん	腺がん	扁平上皮がん	大細胞がん
発生頻度	15%前後	50%程度	30%程度	5～10%
発生部位	 肺門縦隔に多い	 末梢部に多い	 肺門部に多い	 末梢部に多い
喫煙との関係	大	小	大	小～中
発育頻度	非常に速い	中等度	遅い	速い
転 移	非常にしやすい	しやすい	少ない	しやすい
症 状	咳、息切れ、胸部痛、血痰、顔・頸部の腫脹、体重減少 など	(進行してくると) 咳、息切れ、胸部痛 腕・肩の痛み、血痰 など	(ある程度進行すると) 咳、血痰 (さらに進行すると) 息切れ、胸部痛、腕の痛み、呼吸困難 など	(ある程度進行すると) 喘鳴、息切れ (さらに進行すると) 胸部痛、肩・腕の痛み呼吸困難 など

※その他、転移した肺がんにもみられる症状として「(脳転移)頭痛、ふらつき、麻痺」、「(骨転移)肩痛や背部痛」などもあります。

肺がんの病期(ステージ)

大まかに以下の4つに区分されています。ステージが進むにつれてより進行したがんであることを示しています。



検査

肺がんの検査は、大きく2つに分けられます。

肺がんであることを調べる検査	CT、喀痰検査、気管支鏡を用いた細胞検査(病理学的診断)など
肺がんの進行度を調べる検査	全身CT、PET検査、脳MRI、骨シンチグラフィー、超音波検査、腫瘍マーカーなど

これらの検査で、肺がんの種類(小細胞がん、腺がん、扁平上皮がん、大細胞がん)を明らかにします。

治療

小細胞がんは発見時にはすでに転移していることが多く、主に以下の治療法が選択されます。

- ①遠隔転移あり：抗がん剤治療
- ②遠隔転移なし：抗がん剤治療と胸部放射線照射の組合せ



非小細胞がんでは、それぞれの病期(ステージ)に合わせた治療法が選択されます。

- ①手術のみ
- ②手術 + 抗がん剤治療
- ③(手術が出来ない場合) 粒子線治療、定位放射線照射
- ④(手術不可の場合) 胸部放射線照射 + 抗がん剤治療
- ⑤抗がん剤治療のみ

分子標的薬について

近年、分子標的治療薬と呼ばれる新しい薬が開発され、人によっては劇的な腫瘍縮小効果と延命効果が得られています。東洋人、女性、非喫煙者、腺がんの方に効果が現れやすいことがわかっていますが、その反面、喫煙者、扁平上皮がん、男性では効果が乏しく、副作用がでやすいことが知られています。

予防と早期発見

- 喫煙は、肺がんの発生に強く関与することが証明されており、**現在、最も重要な肺がんの予防対策は禁煙の徹底です。**
- **肺がんの早期発見のためにも 40 歳以上の方は、毎年定期的に肺がん検診を受診しましょう。**
検診で、「がんの疑いがあります」「精密検査を受けてください」などと言われた場合は、そのまま放置せず、なるべく早く医療機関で精密検査（さらに詳しく行う検査）を受けましょう。

新型コロナウイルス感染症とタバコについて

1. 喫煙は新型コロナウイルス肺炎重症化の最大のリスクです

新型コロナウイルス感染症の影響について、喫煙者は人工呼吸器が装着される、あるいは死亡する危険性が非喫煙者の3倍以上になることが最近の研究で明らかになっています。



2. 三密「密閉」「密集」「密接」の喫煙室は濃厚接触の場です

密閉された狭い空間で大勢が喫煙する喫煙室は三密「密閉」「密集」「密接」の典型です。喫煙室の使用は感染の危険と隣り合わせであり、禁煙に取り組むなどし、喫煙室・喫煙コーナーの利用を控えましょう。

3. 家にも家族・近隣への受動喫煙を増やさないでください

緊急事態宣言以降、自宅で家族と過ごす時間が増えていますが、ベランダや台所の換気扇の下で喫煙しても家族の受動喫煙はなくなりません。また、隣家への受動喫煙によるトラブルも発生しています。家族や近隣住民の健康に配慮するためにも、家でタバコを吸うのは控えましょう。

4. あなた自身と家族、同僚を守るため、この機会に禁煙を！

2020 年度より、スマホやネットを利用するオンライン診療が認められ禁煙外来での治療を受けやすくなりました。また薬局で市販薬のニコチンガムやニコチンパッチを手に入れ、薬剤師と相談しながら禁煙することもできます。あなた自身と家族、同僚を守るため、是非この機会に禁煙しましょう。



日本呼吸器学会「新型コロナウイルス感染症とタバコについて」:<https://www.jrs.or.jp/uploads/uploads/files/koronatotabako.pdf>

参考文献：

国立がん研究センター 最新がん統計 :https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

医療法人医誠会 肺がんトーク Q&AVol.3 肺がんの「病期(ステージ)」篇 : <http://www.iseikaihp.or.jp/dept/haigantalk3.html>

日本呼吸器学会 呼吸器の病気 肺がん : https://www.jrs.or.jp/modules/citizen/index.php?content_id=25